

米国特許取得企業ランキングで世界第 5 位・日本第 1 位 37 年連続で世界 5 位以内を維持

米国の特許専門調査会社 IFI CLAIMS パテントサービスによると、2022 年に米国特許商標庁（USPTO）に登録された特許数（速報値）は、キヤノンが 5 位となり、37 年連続で世界 5 位以内を維持しました。これは、世界の企業で唯一、キヤノンが達成した記録です。また、日本企業においては、18 年連続 1 位となりました。

キヤノンでは、日本国内はもとより海外での特許取得も重視しており、地域ごとの事業戦略や技術・製品動向を踏まえた上で特許の権利化を推進しています。特に米国は、世界最先端の技術をもつ企業が多く市場規模も大きいことから、米国での特許出願については、事業拡大、技術提携の双方の視点から注力しています。

〈米国特許取得件数における世界企業・日本企業中のキヤノンのランキングおよび特許取得件数（直近 10 年）〉

年	世界企業ランキング	日本企業ランキング	取得件数（件）
2022 年	5 位	1 位	2,694
2021 年	3 位	1 位	3,021
2020 年	3 位	1 位	3,225
2019 年	3 位	1 位	3,548
2018 年	3 位	1 位	3,051
2017 年	3 位	1 位	3,284
2016 年	3 位	1 位	3,662
2015 年	3 位	1 位	4,127
2014 年	3 位	1 位	4,048
2013 年	3 位	1 位	3,820

* 2021 年～2022 年の特許取得件数は IFI CLAIMS パテントサービスの発表（2023 年 1 月 11 日時点）に基づく。2013 年～2020 年の件数は米国特許商標庁（United States Patent and Trademark Office, USPTO）の公開情報に基づく。

キヤノンは、プリンティング、イメージング、メディカル、インダストリアル の 4 つの産業別事業グループにおいて、日々新たな技術の創出に取り組んでいます。各事業の競争力の強化に加えて、近年では、映像解析技術、最先端のイメージセンサー、ポリュメトリックビデオ、医療 AI など、事業のベースとなり、応用・転用が可能な基盤要素技術の開発にも注力し、特許出願においても重視しています。事業を支えるコアコンピタンス技術の特許出願・権利化はもちろんのこと、時代を見据えてさまざまな分野の技術についても特許出願・権利化を行うことで、強い特許ポートフォリオを構築し、事業の競争優位性・自由度を確保しています。

今後も知的財産活動によって事業を支え、付加価値の高い製品・サービスを提供し、より良い未来社会の創生に貢献していきます。